

平成26年度第2四半期「景気動向調査」結果報告

製造業では回復基調に一服感、非製造業でも厳しい状況

コメント: 【製造業】

売上(出荷)額において、対三カ月前比では2期連続しての改善で、かなりの水準にまで回復したが今期再び悪化の動きが見られた。対前年比と比較して減少幅が緩やかになっていものの、景気の回復に一服感が見られる結果となった。三カ月後予測においては下げ幅が29.9で▲14.7と先行きはかなり慎重な見通しをされている。

景況感において、対三カ月前比、対前年比ともに目立った動きは見られなかった。ほぼ横ばいでの推移となった。三カ月後予測において、こちらも売上高同様に0から▲11.8と大きく減少。

消費税増税後の影響について、47%(16社)が増税前駆け込み需要後の反動について「一部で影響が見られる」と答え、最多であった。6%(2社)が「かなり影響が見られる」と答えている。

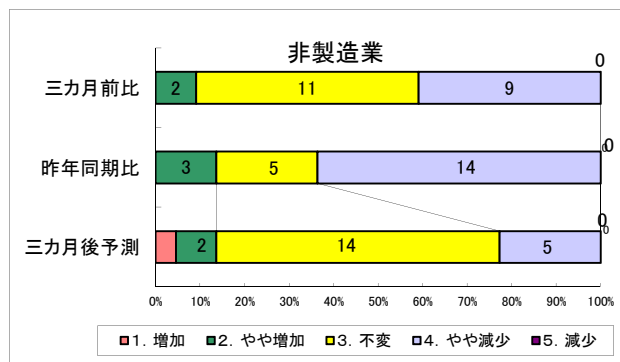
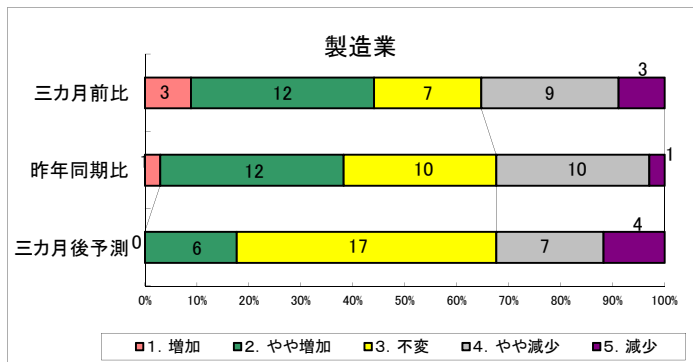
【非製造業】

売上(出荷)額において、対三カ月前比では▲33.3から1.5回復し▲31.8と緩やかではあるが回復傾向が続いている。しかし依然厳しい値であり予断を許さない状況が続く。対前年比では▲50.0から変わらず横ばいで推移。三カ月後予測では▲8.3から0.8悪化し▲9.1と製造業程ではないが慎重な見通しをされている。

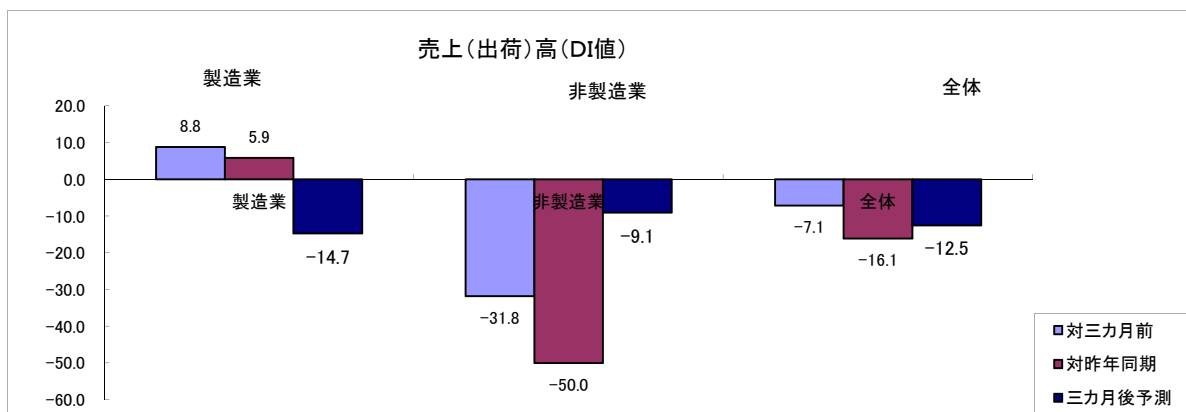
景況感において、対三カ月前比では▲50.0から31.8回復し▲18.2と、大きく改善された。対前年比でも▲62.5から26.1回復し▲36.4と回復幅は大きくなる結果となった。三カ月後予測に関しては▲8.3から3.8回復し▲4.5とやや慎重な見方をされている。

消費税増税後の影響について、半数以上の事業所が増税前駆け込み需要の反動が見られると回答している。

1. 貴社の売上(出荷)額について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	8.8	5.9	-14.7	12.1	12.1	15.2
非製造業	-31.8	-50.0	-9.1	-33.3	-50.0	-8.3
全体	-7.1	-16.1	-12.5	-7.0	-14.0	5.3

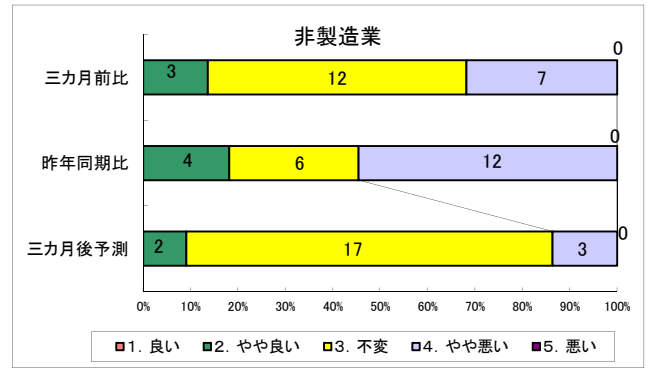
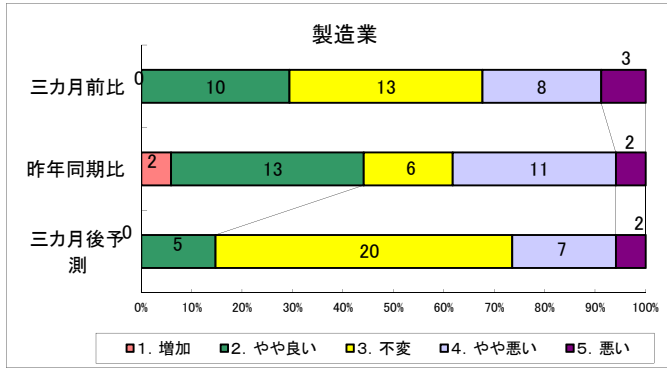


対三カ月前比において、製造業ではDI値が12.1から3.3悪化し8.8と、緩やかな減少が見られるもプラスの値を維持しており、さらなる回復テンポに転じていけるか次期以降の調査が注目される。非製造業では▲33.3から1.5回復し▲31.8と緩やかに改善されつつあるが、依然厳しい水準が続く。

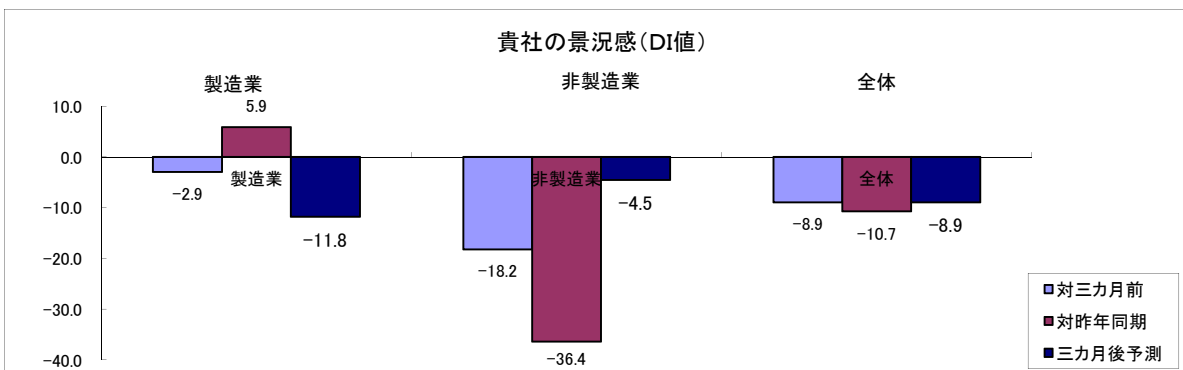
対前年比において、製造業では12.1から6.2悪化し5.9と昨年と比較し減少が緩やかになるも、2期連続の悪化が目立つ。非製造業では▲50.0から変化は見られず▲50.0。製造業とで大きく差が見られる。

三カ月後予測において、製造業では15.2から29.9悪化し▲14.7とかなりの悪化幅であり、先行きは厳しい見通し。大きくマイナス値に転じている。非製造業では▲8.3から0.8悪化し▲9.1とやや慎重な見通し。

2. 貴社の景況感について



DI値	対三カ月前	対昨年同期	三カ月後予測	対三カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)	三カ月後予測 (前回)
製造業	-2.9	5.9	-11.8	-3.0	9.1	0.0
非製造業	-18.2	-36.4	-4.5	-50.0	-62.5	-8.3
全体	-8.9	-10.7	-8.9	-22.8	-21.1	-3.5



対三カ月前比において、製造業ではDI値が▲3.0から0.1回復し▲2.9と売上高同様、目立った動きはなく2期連続して横ばいでの推移。非製造業では▲50.0から31.8回復し▲18.2と2期続いた減少から今期回復に転じている。後退感に歯止めがかかるか次期以降の調査が期待される。

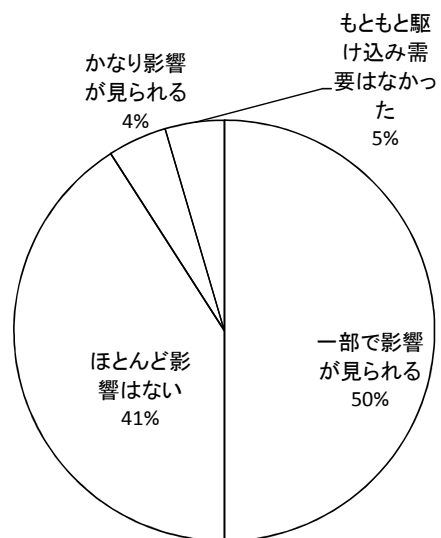
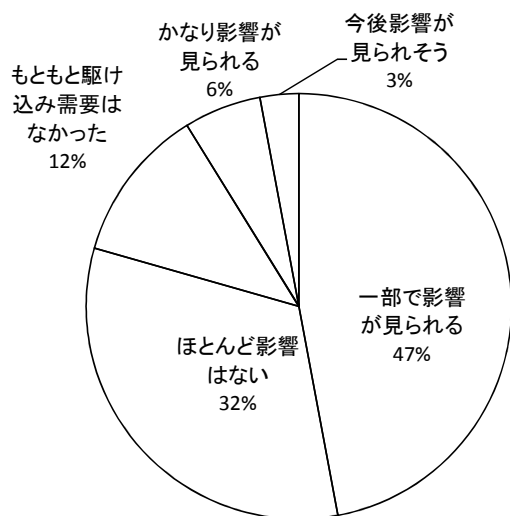
対前年比において、製造業では9.1から3.2悪化し5.9と昨年より悪化のテンポは緩やかになっているも、減少傾向が続いている。非製造業では▲62.5から26.1回復し▲36.4と回復の動きに転じた。依然厳しい水準であり、悪化と回復を繰り返し推移し不安定感が感じられる。

三カ月後予測において、製造業では0.0から11.8悪化し▲11.8と大きく悪化に転じている。売上高同様に先行きは厳しい見通し。非製造業では▲8.3から3.8回復し▲4.5とやや改善。今後の見通しに関しては非製造業の方が若干緩まる結果となった。

3、消費増税駆け込み需要の反動はありますか？(単一回答)

製造業

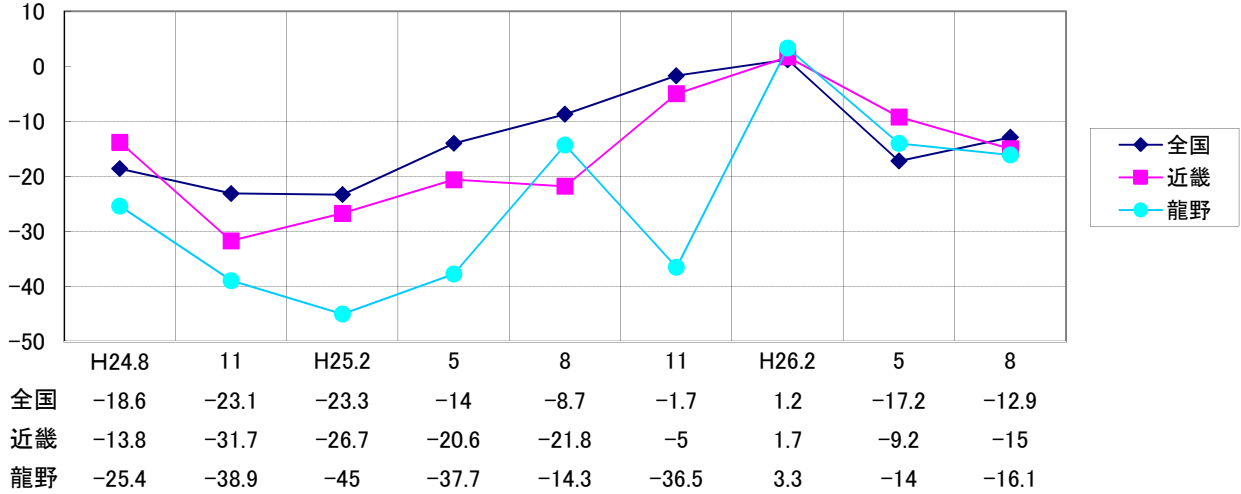
非製造業



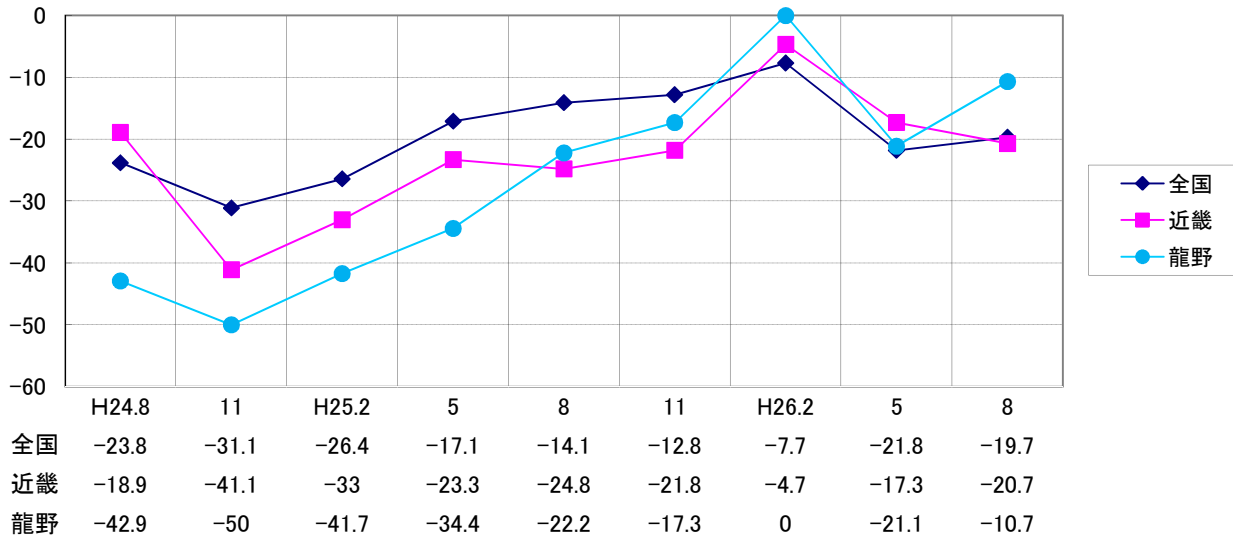
両業種ともに約半数の事業所が「一部で影響が見られる」と答え、消費税増税前駆け込み需要後の反動を感じている事業所が目立った。「かなり影響が見られる」と製造業で6%、非製造業で4%あった。

全国・近畿ブロック調査との比較

売上(出荷)額 対前年比



貴社の景況感 対前年比



全国・近畿ブロック別調査……………日本商工会議所実施のLOBO(早期景気観測)調査
 ※H26. 8の数値は7月度実施分を掲載

調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成26年7月28日～8月4日(基準日8月1日)
3. 調査方法 FAXIにより依頼、回答
4. 調査対象 各役員議員、部会役員 128社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 回答企業の属性

所属部会	対象数
一般工業	22
建設業	17
醤油工業	7
食品工業	13
皮革工業	17
公益業	17
サービス業	9
理財	8
商業	18
合計	128

調査対象	対象数	回答数	回答率
製造業	76	34	44.7%
非製造業	52	22	42.3%
合計	128	56	43.8%